（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスBrillius博多			
○保護者評価実施期間	令和8年2月15日	～	令和8年3月2日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	41	（回答者数）	30
○従業者評価実施期間	令和8年3月15日	～	令和8年3月19日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	受験期や思春期にさしかかった学齢の利用児に個別対応ができている。	静かな学習環境で、特性を理解したスタッフが個々の課題に対して支援対応している。 心理支援や傾聴を意識した取り組みで、個別のニーズに対応している。	業務の効率化をすすめる。
2	学齢に応じた活動内容が提供されている。	学級日の活動では自立や生活、就労などを意識できるようなテーマ設定や、作業手順のなかに微細訓練などを取り入れている。 平日の活動は個人のニーズにあわせた個別対応になっている。	平日の学習後の活動がより充実するよう、検討していく。
3	支援に必要な参考書や書籍などがあり、いつでも支援に活かせる。 保護者にも教材などの情報の共有など行っている。	保護者とのコミュニケーションを心掛けている。 職員の自己研鑽が可能な職場環境にあるため、支援に必要な知識のアップデートを進めている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンのスペースがない。	個室がなく、スペースにも限りがありパーテーションなどで適切な空間を作れない。	休憩スペースや相談室を活用する。 社会生活においても適切なクールダウンができるよう、自己のパーソナルスペースの感覚を獲得できるような支援を行う。
2	運動をする活動環境がない。	学習支援中心に取り組んでいるため。 高学年の利用児が多く、大きく身体を動かすスペースがない	外出の活動を取り入れる。 運動系の他事業所と併用されている方もいる。
3			